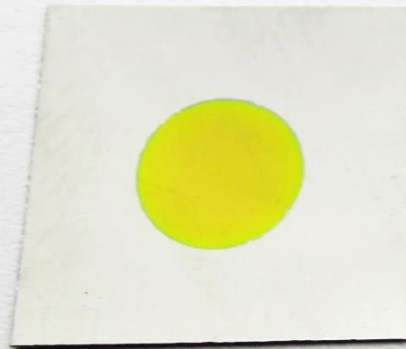
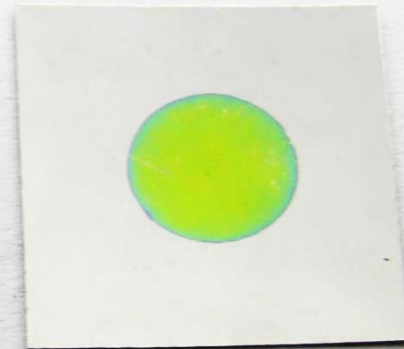


プラズマチェッカー MSHシリーズ

プラズマ効果を色で確認



プラズマ照射前



プラズマ照射後

プラズマ照射によりチェッカーが黄から緑へ変色している。
処理装置: 卓上大気圧バリア放電装置 TK-50

使用方法、特徴、主な用途例

使用方法

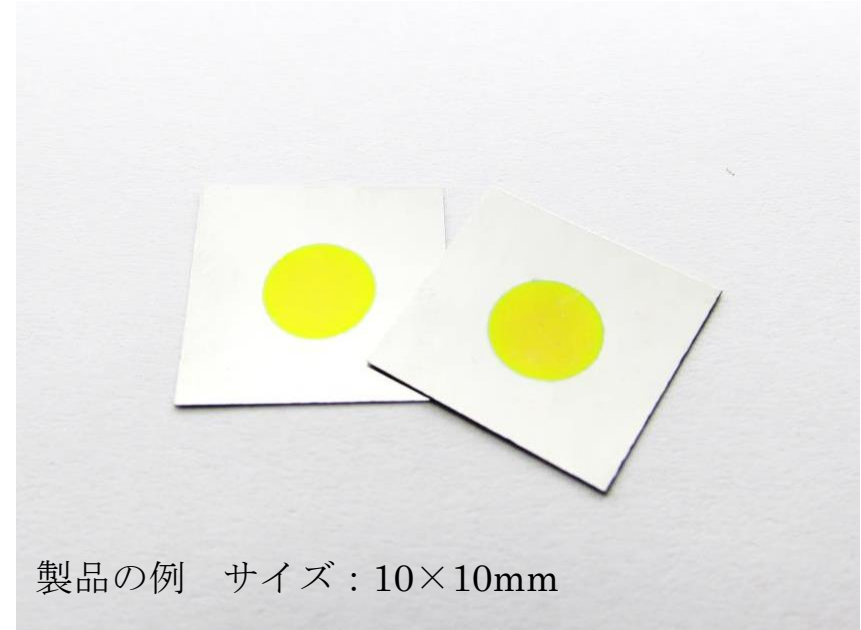
測定したい箇所にシートを置き、プラズマを照射
シートの色の変化を確認する
(数値化する場合は色差計が必要)

特徴

- 測定機器の導入が不要に
- 大気圧プラズマ、コロナ処理にも対応
- 耐熱性が高いため、適合プロセスの幅が広い
- お客様のプロセスに応じて膜厚や素材を変更し
オーダーメイド品が作製可能

主な用途例

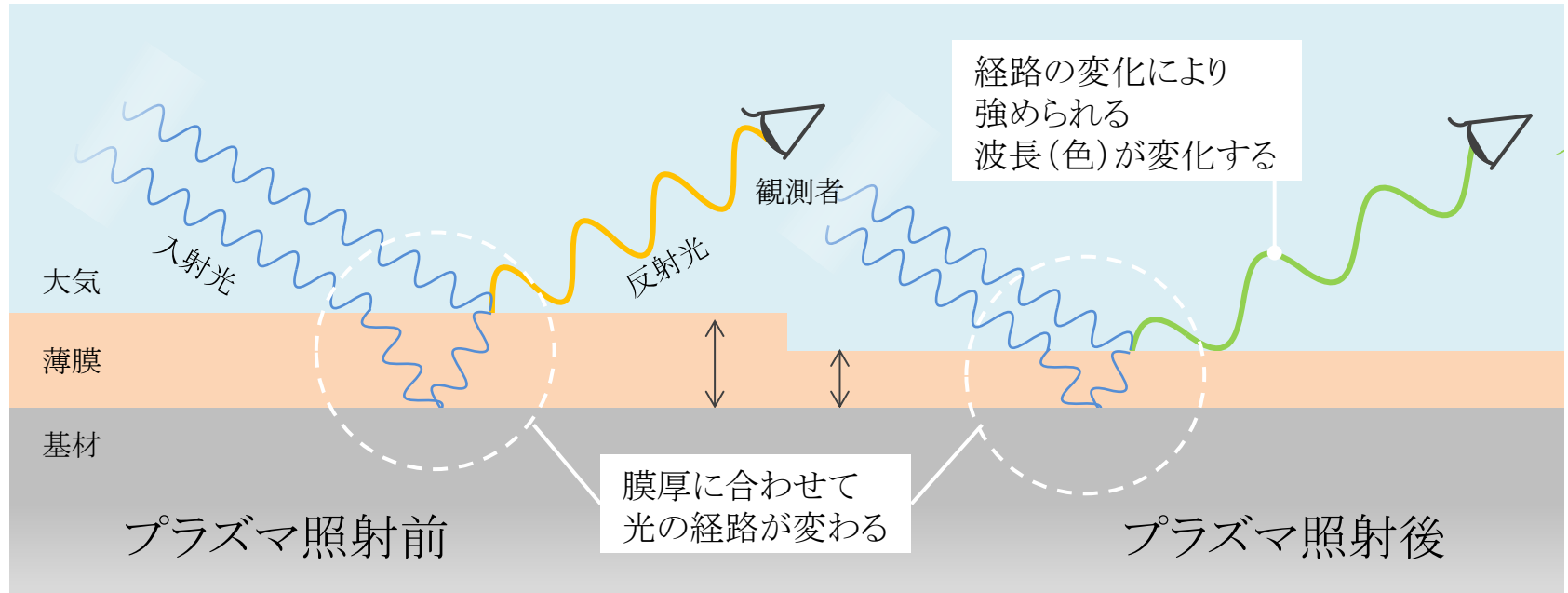
- プラズマ処理工程の安定性確保に
 - スマホのITOフィルム洗浄処理を安定化
→ 不良率の低下
 - 自動車パーツの接合前処理を安定化
→ 接合強度を均一化



製品の例 サイズ：10×10mm

- プラズマ処理工程の効果保証として
 - 細胞培養用シャーレ → 生体適合性の向上を保証
 - 各種フィルム → 親水性の向上を保証
- 処理槽内のプラズマ強度分布の調査
 - プラズマ装置の新規開発時における効果の検証
 - 複雑形状の立体物に対するプラズマ処理効果の確認

プラズマチェッカーの仕組み



変色の原理

基材に形成された薄膜が
プラズマによってエッチングされ
膜厚が薄くなることにより
薄膜内を通る光の経路が変化し
干渉色が変わる。

薄膜と基材の種類を変更する
ことで、プロセスに応じた
変色度合いを調整可能。

薄膜による干渉色

基材上の薄膜内を通った光の内、特定の
波長のみが、薄膜表面で反射する光と
位相が揃うため、色を呈する。
シャボン玉や水たまりの油膜による虹色と
原理は同じ。

プラズマチェッカー用測定機(開発中 2016年4月販売開始予定)

プラズマチェッカー用測定機
(画像は開発中のものです。)



使用方法

図中のAの箇所にプラズマ照射後の
プラズマチェッカーセットし
測定ボタンを押すことで色を数値化する。



会社概要

株式会社魁半導体

SAKIGAKE-Semiconductor. Ltd.

2002年9月設立

京都工芸繊維大学 (Kyoto Institute of Technology) 発ベンチャー企業

本社所在地

〒600-8897

京都府京都市下京区西七条御前田町50番地

TEL:075-204-9589 FAX:050-3488-5883

Mail:support@sakigakes.co.jp

主な事業内容

- ・液体ソースを用いた堆積装置、表面改質装置等を含む
プラズマを用いた各種半導体製造装置の開発および製造販売
- ・委託研究による半導体製造装置の開発および製造販売
- ・ SiO_2 、 SiON 、 SiN_x 、 SiC 等の堆積、及びエッチング業務
- ・各種ガラス製品や金属、加工等の材料提供

